

補正書類

令和7年度決算処理において、大学等奨学金繰越積立資産（貸与奨学金の原資）へ誤って16,441,608円を過大に積立計上していたため、以下のとおり財務報告書上の表記と本来計上すべき額に相違が出ている。

この計上誤りは、令和8年度で修正の振替を行う。

貸借対照表（奨学金貸与等事業）

正	誤（財務報告書 48 頁の表記）
当年度	当年度
I 資産の部	I 資産の部
1. 流動資産	1. 流動資産
普通預金 <u>18,223,341</u>	普通預金 <u>1,781,733</u>
2. 固定資産	2. 固定資産
(2) 特定資産	(2) 特定資産
大学等奨学金繰越積立資産	大学等奨学金繰越積立資産
普通預金 <u>791,820,311</u>	普通預金 <u>808,261,919</u>

※上記を修正する仕訳により、「収支計算書」、「正味財産増減計算書」「財務諸表に対する注記」及び「財産目録」も関連する項目に変更が生じる。

「財務諸表に対する注記」及び「財産目録」では、上記「大学等奨学金繰越積立資産」の「正」の額に読み替えばよい。

「収支計算書」及び「正味財産増減計算書」については、それぞれ投資活動支出、指定正味財産増減に影響があると思われるが、会計システム上で上記修正を行わないと変更が生じる箇所及び額が確認できない。「誤」の状態でも令和7年度を締めたいうえで、令和8年度で修正を行うため、会計システム上のデータは修正を行わない状態で残しておく必要がある。